れんごう 愛媛

JTUC-EHIME

ゆとり豊かさ社会的公正
生活者重視社会の実現

連合愛媛HP

No 376 2025.12.10

平成2年5月10日　第三種郵便物認可
定価／1部50円（組合員の購買料は会費に含む）
定日／毎月1回10日発行

日本労働組合総連合会
愛媛県連合会（連合愛媛）

〒790-0066
松山市宮田町132-1 四国ろうきん松山ビル4F
TEL 089-941-0500
FAX 089-947-8010

発行人 上甲章史
編集人 金並泰志

連合愛媛
第35回 定期大会

大会スローガン

安心社会へ 果敢にアクション！
～広げよう「理解・共感・参加」の輪～

11月14日（金）、四国ろうきん松山ビルにおいて、連合愛媛第35回定期大会が開催されました。ご来賓には連合本部から芳野会長をはじめ、中村愛媛県知事、松本松山市参与、友好政党代表者、各事業団体代表者、連合愛媛元会長・元事務局長と、役員・代議員・特別代議員等約150名が出席しました。

はじめに主催者を代表し白石会長代行はあいさつの中で、自身が6月の地方委員会から会長代行を務め、今大会で退任することを報告し、今回大幅な引き上げとなった愛媛県最低賃金の審議への関わりと、大企業との賃金格差の実態について思いを述べ、大会成功に向けともに社会正義を追求する仲間として、真摯な論議を要請しました。

次に連合本部芳野会長があいさつに立ち、新体制スタートの報告と、①第27回参議院議員選挙のお礼②2026春闘の取り組み③労働法制の前進④ジェンダー平等・多様性の推進⑤組織拡大の取り組み――について述べ、連合への結集を訴えました。

報告事項では、①2025年度一般活動報告②2025年度会計報告ならびに会計監査報告を行い、満場一致で承認されました。

続く審議事項では、①2026年度活動方針（案）②2026年度予算（案）③2026年～2027年度役員（案）を提起し、満場一致で承認・採択されました。

すべての議案審議を終えた後、電力総連の白石前会長代行をはじめ、今大会で退任された14名の方々に対するこれまでのご尽力への感謝と、今後のご活躍をご祈念申し上げ、最後に上甲新会長の団結ガンバロー三唱で大会を締めくくりました。

なお、今大会における代議員・特別代議員の女性比率は16.7％でした。

執行部を代表してあいさつをする白石会長代行

来賓として駆け付けた芳野連合会長

議長団 左：埇田良太郎（私鉄総連）右：深井まきこ（UAゼンセン）

新たに就任した上甲章史連合愛媛会長

連合愛媛2026～2027年度役員

役職名	氏名	産別名	単組名
会長	上甲章史	電機連合	ＰＨＣ労働組合
副会長	長岡英樹	ＵＡゼンセン	ＵＡゼンセン愛媛県支部
	岡本武	基幹労連	別子労働組合
	峰行一夫	ＪＰ労組	日本郵政グループ労働組合四国地方本部
	大岩聖	電力総連	四国電力労働組合
	中塚広之	自治労	全日本自治団体労働組合愛媛県本部
	竹箇平貴隆	電機連合	電機連合愛媛地域協議会
	吉川亮	ＪＡＭ	ＪＡＭ井関農機労働組合松山支部
	松木光晴	情報労連	ＮＴＴ労働組合四国総支部
	宮﨑司	私鉄総連	伊予鉄労働組合
事務局長	寺田淳泰	私鉄総連	伊予鉄労働組合
副事務局長	金並泰志	情報労連	ＮＴＴ労働組合四国総支部
	三好謙一郎	紙パ連合	紙パ連合愛媛地区協議会
執行委員	村井純一	ＵＡゼンセン	東レ労働組合愛媛支部
	髙橋建策	ＵＡゼンセン	クラレ労働組合西条支部
	井土源	ＵＡゼンセン	いよてつ髙島屋労働組合
	高橋保博	基幹労連	住友重機械労働組合連合会愛媛地方本部
	味口優樹	ＪＰ労組	日本郵政グループ労働組合愛媛連絡協議会
	梅木雅春	電力総連	四国電力労働組合
	豊川裕也	自治労	全国一般愛媛地方労働組合
	高岡敏弘	電機連合	東芝ＥＩコントロールシステム労働組合四国支部
	山川宏明	ＪＡＭ	ＪＡＭ川之江造機支部
	野村真理子	情報労連	ＮＴＴ労働組合四国総支部
	高瀬康文	私鉄総連	宇和島自動車労働組合
	村上英之	運輸労連	全日通労働組合四国支部愛媛地域協議会
	西貴志	紙パ連合	愛媛製紙労働組合
	渡辺敏彦	交通労連	四国西濃運輸労働組合
	曽我佑規	ＪＥＣ連合	太陽石油労働組合
	清水駿	海員組合	全日本海員組合愛媛支部
	山本鉄平	ＪＲ連合	ＪＲ四国労働組合愛媛支部
〈女性枠〉	加藤明子	基幹労連	別子労働組合
〈女性委員会枠〉	西川京子	情報労連	ＮＴＴ労働組合四国総支部
会計監査	丹豊久	基幹労連	住友重機械労働組合連合会愛媛地方本部
	鈴木聡彦	メディア労連	日本放送労働組合四国支部
	矢野美千代	全労金	四国労働金庫労働組合愛媛支部

※網掛け部分が新任

2026年度連合愛媛 政策・制度
愛媛県に対する「要求と提言」
～6つの柱32項目を要請～

10月30日（木）、2026年度愛媛県に対する要請行動に、白石会長代行、政策委員10名が参加しました。

はじめに白石会長代行から、「新政権が誕生し物価など経済対策に早急に取り組んでほしい。愛媛県の政策についても、本日の要請内容を含め共通認識を醸成したい」と述べ、6つの柱を中心に、32項目の要請を行いました。

意見交換では、①適正取引に向けた価格転嫁の取り組み②労働災害防止に向けた高年齢労働者への対応③認知症患者への支援④行政分野での女性活躍⑤カスタマーハラスメントへの対策――について質問し、愛媛県の取り組みと対応について確認しました。

最後に、各要請内容に対する県政への反映と、さらなる取り組み強化をお願いし終了しました。

要請の抜粋 6つの柱（32項目）

Ⅰ．適正な取引慣行の定着について……4項目
Ⅱ．地域における雇用創出と雇用環境の整備……7項目
Ⅲ．生活困窮者や介護を抱える人への支援体制について……3項目
Ⅳ．医療・介護体制の強化について……10項目
Ⅴ．ジェンダー平等社会の実現について……3項目
Ⅵ．社会問題への対応について……5項目

国際労働財団 JILAF

招へい事業の地方連合会訪問に協力
インドネシア・トルコ 非英語チームを受け入れ

連合愛媛は、国際労働財団（JILAF）が実施している2025年度招へい事業における地方連合会訪問の協力依頼を受け、11月17日（月）～18日（火）の期間、非英語チームとしてインドネシア6名、トルコ6名、通訳2名、JILAF事務局2名の総勢16名を受け入れました。

この事業は、グローバル化が進展する国際社会で、日本各地の雇用状況や地方連合の役割などの見識を深めてもらうこと等を目的に、各地方連合が協力・実施しているものです。

11月17日（月）午前は、伊予鉄道古町駅の車両工場を訪れ、新旧車両の見学や整備・安全への配慮などについて視察、私鉄愛媛県連と、自国と日本の労使関係の違いなどについて意見交換を行いました。

午後に訪れた県庁では、中村知事から歓迎を受け、愛媛県との関わりや両国の発展に向けた地方自治体の役割等について意見交換を行いました。

その後の連合愛媛三役・女性執行委員・女性委員会との意見交換では、上甲会長から若手リーダーへの期待などを述べた後、連合愛媛の活動等について寺田事務局長の説明があり、日本に対するイメージや女性活躍に向けた課題など、双方から活発な質問がありました。

翌11月18日（火）にはポリテクセンター愛媛を訪れ、センターの役割や取り組み状況の説明のあと、プログラミングや建築など実際の訓練場所の見学で見識を深めました。その後、①外国人訓練生の受け入れ状況、②訓練の申し込み状況、③一番人気の訓練――などについて意見交換が行われ、2日間の招へい事業を終了しました。

伊予鉄古町駅車両工場にて

中村愛媛県知事を訪問

ポリテクセンター愛媛にて